



# CAGLIERO 11

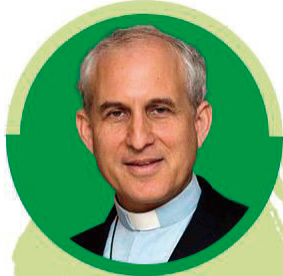
カリエロ



161 2022年 5月

## サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



### カリエロ11!

再び皆さんと出会う機会をいただき、ありがとうございます。毎月、カリエロ11は、平安、光、勇気で満たしてくれます。カリエロ11は年を重ねていますが、毎回、若々しくなっています。実際、すでに161号を数えるほどになりましたが、いつまでも「11」のままです。本当に素晴らしいことです！

小さかった聖フランシスコ・サレジオ修道会もまた成長し、そして年を重ねています。その偉大な天の保護者の400周年を；その創立者の生誕207年、そしてサレジオ修道会の創立163年を祝っています。一方、……カリエロはいつも「11」です！ 宣教するものとして生まれたという記憶は、私たち一人ひとりのうちに常に息づいています。それを忘れるなら、私たちは不幸です！ 「福音を告げ知らせないなら、わたしは不幸なのです」と聖パウロは書いています。ドン・ボスコが最もつぶさにその姿に倣った聖人です。アフリカの心・真ん中から皆さんにごあいさつ申し上げ、祝福を送ります - 宣教の開拓者たちが、1911年11月11日、11時11分に到着したこの場所から！

*J. Basanes*

■ アフリカ中央管区AFC 管区長  
ギジェルモ・バサニェス神父, SDB  
(コンゴールブンバシ)

## 人生における信仰の意味



僕は**オリイ・マコタ**です。**ナミビア**出身で、養成中のサレジオ宣教ボランティアです。信仰の意味ですか？ 僕にとって信仰とは、ご自分の子らを**決して見捨てることのない神に信頼すること**です。僕は、自分が神の恵みを受けたと感じています。以前の自分の生き方は、向こう見ずなものだったと言えます。目標を全く見失い、親への尊敬も失くしました。不誠実な生き方をするようになり、酒を飲み、そのほかさまざまな悪い習慣にのめりこんでいました。人生を振り返るとき、もし神様が人生に介入してくださっていただければ、本当に自分はようになっていたか、恐ろしく、震えます！ ですから、僕にとって信仰は、死から救ってくださった神に信頼することです。



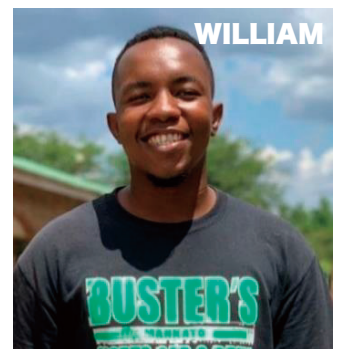
OLLIE

私の名前は**ブリジット・ンドゥロヴ**、**マラウイ**出身で、生まれも育ちもカトリックです。私の理解では、信仰は神の照らしを受け、自分自身の確信となるもので、神からというのは、人間の精神では捉えきれない、あまりに神秘的な事柄が存在するからです：そのような事柄を理解するには神からの特別な恵みがなければなりません；自分自身の確信というのは、そのことが**自分の人生で意味を持つ**には、私自身がそれを信じる必要があります。自分が心で信じることを、私は宣べ伝えるのです。信仰生活を良く生きるために、私には支えてくれる人たちが必要です。私は最初の教皇、聖ペトロの姿に感銘を受けます。



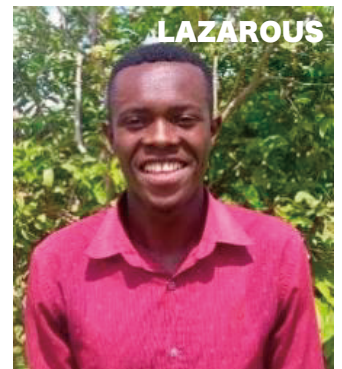
BRIDGET

僕は**ウィリアム・ムバンガニ**、**ジンバブエ**出身です。僕も、サレジオ宣教ボランティアとして養成を受けています。僕にとって信仰は、**満ち満ちたいのちを生きる**ことです。自分の生活のさまざまな状況の中で、神が変わることなくいつも共にいてくださることを信頼することです。人生の出来事の中に神様の手の働きを見、自分の人生は完全に神様の計らいの中であって守られていると信頼します。神に感謝します、神は自然の賜物、生まれながらの能力を授けてくださり、僕が成長するために新しい可能性を開き続けてくださるからです。ですから、僕にとって信仰は、神様にささげるべきスペースを生活の中に設け、人生の旅で自分は独りではないと信頼することです。



WILLIAM

**ラザルス・ムセンゲ**です。**ザンビア**出身で、僕もサレジオ宣教ボランティアです。児童養護施設で働いています。僕にとって信仰は、**感謝の心**を持つことです。僕たちが世話する子どもたちの話を聞くとき、自分は小さいころどれほど恵まれていたか気づかされます。僕には、愛してくれて学校に行かせてくれる優しい両親がいました。世話してくれる両親、子どもに教育を受けさせる両親に恵まれない子どもたちがいるのです！ 僕の友人たちの中には非常に困難な状況に耐えている人もいるし、中には若くして命を落とした人さえいます。僕はその友人たちより良い人間では決してないのですが、ただ神様の恵みによってまだ命があります！ ですから、僕にとって信仰は、「主よ、ありがとうございます」と言うことなのです。



LAZAROUS

### 振り返りと分かち合いのために

- 私にとって信仰とは？
- 私にとって、信仰において最も難しいことは何？

クリス・クンダ神父, SDBが同伴する、**ZMB** ザンビア管区の**サレジオ・ボランティア**の若者たち

# エリトリア：神は、あらゆることから 最良のものを引き出される



マシアス神父様、一般的にエリトリアのキリスト教徒は信心深いことで知られています。現実の紛争は、この信仰の側面に影響を与えてでしょうか？

紛争、戦争、苦難は、人間の中の最良の面と最悪の面を引き出します。エリトリアは1998年以来、戦争状態にあります。そのため人口が大きく流動化し、伝統的な家族や社会の構造を危機に陥れています。このことは若い人々の心のあり方や受け継いだキリスト教信仰に痛手となりました。伝統的なキリスト教の環境で養育されることなく、自らのキリスト教信仰を吸収する時間もないまま、根を引き抜かれてしまっているのです。あまりに多くの若者が移住するようになったことで、そのことに拍車がかかっています。しかし神は、希望の見えないような状況からさえも良いことを生み出されます。若いカトリック信者の中に、深い、敬虔な信仰が力強く再生しているのが見られます。その若者たちは、エリトリアの中で、また国の外で、人生の苦難に耐えてきた若者たちです。苦難の時、神に、自らの信仰に近づいたのです。その若者たちは活力と信仰にあふれています。その意味で、紛争は信仰を促しました。

希望を強く持つよう若者を助けるために、エリトリアのサレジオ会はどのような活動をしていますか？

エリトリアの教育政策では、表立った宗教的な内容や実践が禁じられています。しかし、エリトリアの文化はキリスト教が浸透しており、非常に信心深いので、若者たちを助けるいくつかの方法があります。国旗を掲揚する朝礼の講話を活かし、善い人になるにはどうしたらいいか、お互いのさまざまな違いにもかかわらず一致するにはどうしたらいいかなど、キリスト教的価値をテーマとする短い考察を分かち合います。生徒の多くは、僻地の小さな村の出身です。私たちは家庭的な、寄り添う雰囲気を作るように心がけています。そのような環境は温かく迎えると同時に、生徒たちの人間関係を築く力と自信を養います。私たちは、将来への希望を力づけるため、質の高い教育と自らを表現できる場を生徒に提供しています。考えの違う人といかに健全に向き合うことができるかを示すことによって、将来があることを生徒に示したいと願っています。しかし、私たちの活動は学校にとどまりません！ 小教区の運営、チャプレンの務め、カテキズムのプログラムなどがあります。諸教区や小教区の司牧部門と協力して働いています。

エリトリア人として、私たちサレジオ家族に何を伝えたいですか？

私たちはとても困難な状況を生きています。しかし、感謝すべきことがいつもはるかに多くあります！ サレジアンが働くところでは、どこでもさまざまな問題があります。しかし、神と若者と共に働きたいと願う者に、道は常に開かれます。夜がとても長いように思われることもあります。必ず朝がやってきます。神の摂理に信頼しましょう。私たちが若者の心と出会うために、神にはご自身のなさり方があります。自分たちにできることをしましょう、実りは私たち自身にかかっているのではないことを思い出しながら。



マシアス・  
アサヤ神父、  
SDB

1983年、エリトリアの首都、**アスマラ**に生まれる。教皇ヨハネ・パウロ二世の晩年と病を生きる姿に感銘を受け、**司祭の道**へ。2006年の終わりにかけ、ドン・ポスコのサレジオ会に入会。2015年より、テケムハレのサレジオ会共同体の支部財務を務め、2018年より、**委任地区財務**を兼務。また、テケムハレ支部で**ユースセンター**の責任者として奉仕している。

## 教皇と聖人 フォーラム

### 全体

- フランシスコ (2013~)  
909人を列聖 15回の列聖式
- ヨハネ・パウロ二世 (1978-2005)  
483人 50回の列聖式
- レオ十三世 (1878-1903)  
149人 4回の列聖式

1593年から今日2022年5月15日までに、1946名が175回の列聖式で聖人と宣言されている。

### 女性

- イノセント十二世 (1691-1700)  
2人を列聖 男性は0人
- ベネディクト十五世 (1914-1922)  
2人 男性1人
- ピオ十二世 (1939-1958)  
17人 男性17人

ほかの教皇は、女性より多くの男性を、あるいは男性だけを列聖。

### 殉教者

- フランシスコ (2013~)  
殉教者 94.5%、証聖者 5.5%
- ヨハネ・パウロ二世 (1978-2005)  
殉教者 83.2%、証聖者 16.8%
- パウロ六世 (1963-1978)  
殉教者 79.1%、証聖者 20.9%
- ベネディクト十六世 (2005-2013)  
殉教者 4.4%、証聖者 95.6%
- ヨハネ二十三世 (1958-1963)  
殉教者 0%、証聖者 100%

www.gcatholic.org より

## 5月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

### 若者が信仰に満ちて生きるように

エリトリアの若者が、国の困難な状況にもかかわらず、信仰と希望を生きることができるよう。

すべての若者のために祈ります。人生を満ち満ちて生きるよう呼ばれている若者たちが、マリアの生涯のうちに、耳を傾けること、深い識別、信仰から生まれる勇氣、仕える献身を見いだしますように。 | 教皇フランシスコの祈りの意向 |

アフリカの  
ために

